



Catch your dreams

横芝光町立光中学校

進路だより11号

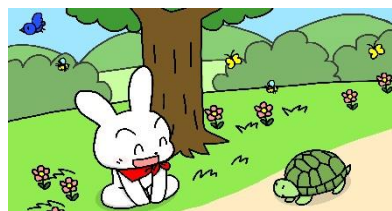
令和4年2月10日発行

公立出願完了！

昨日、公立高校の出願をしてきました。出願が完了したということは、あとは君たちが2週間後に迫った公立入試を頑張るだけです。11月の進路だよりには“公立入試まであと100日！”と書きました。それが、あと2週間です。時間が経つのは本当にあっという間です。あと2週間となると『時間がなくてヤバイ』『このままでは面接が不安だ』という気持ちになっている人は多いのではないのでしょうか？



8日(火)の昼休みに2階廊下をウロウロしていましたが、さすが3年生！さすが受験生！という光景でした。歯磨きが終わったら教室に入り、面接練習をしている人や問題集を開いて黙々と勉強をしていました。廊下には人が誰もいませんでした。この取り組みが非常に重要です。『あと2週間しかない』と考えるのか、『まだ2週間もある』と考えるか・・・ぜひとも『まだ2週間もある』と考えてほしいです。(まだ2週間もあるから、追い込まなくてもいいや～という意味ではありません。)この2週間でやれることはたくさんあります。面接練習。何回も過去問に挑戦。苦手分野の克服。などなど。自分も面接練習は何回、何十回でも付き合います。



話は変わりますが、みなさんは「ウサギとカメ」の話は知っていますよね？昼寝をしていたウサギにカメが勝つという話です。たいがいの人は、ウサギが油断をしていたから負けたんだと言いますが、実は、ウサギがカメに負けた理由は他にもあるそうなんです。

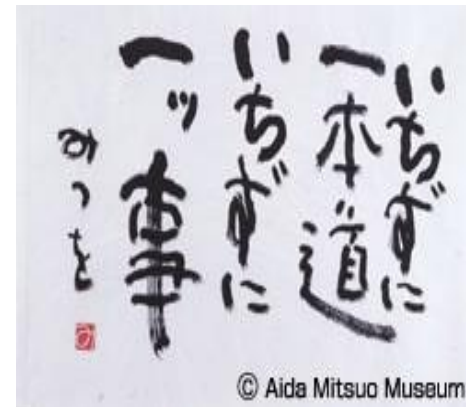
「実は、ウサギはカメを見たからです。」

「なぜカメが勝ったのか？それはウサギを見ずに**自分のゴールだけを見続けた**からです。」

人生というのは、自分がより優れた能力がある人を見て抱いた劣等感や不快な感情が『負け』の現象をつくることがあります。また、能力の劣った人に目を向けて、仕事などをおろそかにする人もいます。ですが、本当の勝利者は、**常に自分のペースを見失わず、ゴールに向かって歩み続けている人**です。人生の成功は、決して早い人が勝つとは限らない。強い人が勝つとも限らない。本当に勝つというのは、**あきらめずに自分の目標を見失わずに歩み続ける人**です。その人が最後に勝つんです。

【心に響く「話し方」青木 仁志 著/アチーブメント出版】

相田みつをさんが残した言葉に「一途に一本道、一途に一ツ事」というものがあります。**わき目もふらずに、一つのことをやりつづければ、いつかは必ず日の目を見る時がやってくる**という意味です。それは、他人との比較ではありません。一本道を歩く時には、**がむしゃらにやり続ける**ことが必要です。すると、何かそこに不思議な力が働き、願っていた物事が成就することがあります。



この一本道というのは、君たちにとっては、“合格”に向かう道だと思います。わき目も振らずに、様々な誘惑に負けることなく、“合格”への一本道を**真っすぐ前だけを見て歩み続けて**ください！君たちのためなら、頑張っている人のためなら、先生方はいくらかでも協力します。3年生の先生方だけでなく、1・2年生の先生も「面接やりますよー！」って声をかけてくれます。校長先生も「放課後に寺子屋を開くよー！」って言ってくれています。面接のお願い。それぞれの教科での質問タイム。休み時間や放課後の時間を十分に使ってください！がむしゃらにやるのが大事です。がむしゃらに！！では、今回のメッセージは、2年3組に教育実習生としてきていた山口先生です。みなさんの先輩からのメッセージです。

～光中学校3年生のみなさんへ～

みんなに私の高校受験のお話をしたいと思います。ご存じの人もいるかと思いますが、私は3年生の6月に行われた実力テストで250点くらいの実力でした。そんな私がなぜ危機感をもち、どうやって志望校に合格したか気になりますよね？私は、中学3年生の時、恩師とも呼べる先生に出会いました。その時に思いました。「このような先生になりたい。先生に追いついてみたい。」では、先生になるにはどのようにしたら良いのか。まずは大学への進学率が高い高校へ進学しなければなりません。今の学力では足りない。もっと勉強しなければあの先生には追いつけない。と思ったので、猛勉強を開始しました。しかし、ひたすらに参考書をノートにきれいにまとめたり、過去問を解いて丸付けをするだけでは点数は目標に届かなかったのです。そこで、先生のように自分が勉強したことを母に教えられるように勉強しました。先生たちはみんなに授業をする前に、「みんなが疑問に思うだろうな」「ここはつまずくだろうな」ということを想定して授業をしています。みんなも同じように1つの問題に対して深く追求したことはありますか？この勉強法はとても時間がかかりますが、必ず結果はついてきます。この勉強方法を続けたら、250点から400点近くまで点数があがりました。しかし、これは私一人だけで達成できたのではなく、私のミニ授業を聞いてくれた母はもちろん、一緒に“志望校合格”に向けて頑張ってきた仲間がいたからだと思います。「受験はチーム戦」とよく言いますよね？しかし、一緒に戦っているのは学年のみんなだけではないです。3学年の先生方や光中の先生、もちろん保護者の方も『チーム光』の一員だということを忘れないでください。(私もみんなの味方です。)

受験まであと少しですね。『チーム光』一丸となって頑張りましょう。教育実習生 山口 可乃

